

令和5年度の主な取組

令和5年度第5回摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業推進審議会

令和6年3月27日

第8期せつつ高齢者かがやきプラン施策体系

1. いつまでも健康で、生きがいをもって暮らせるまちづくり【介護予防と健康づくり】
2. 住み慣れた地域で、安心して生活ができるまちづくり【在宅生活・日常生活の支援】
3. 地域包括ケア体制が確立しているまちづくり【地域ケア体制の整備】
4. 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり【認知症施策の充実】
5. 介護が必要になっても暮らせるまちづくり【介護サービスの充実】

【1】介護予防と健康づくり

- ▶ 健康づくりグループ活動発表会の再開
- ▶ 一部委託型つどい場の増回等
- ▶ 「元気リハビリ教室」の安威川以南圏域での開始に向けた調整



健康づくりグループ活動発表会の再開

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止していた健康づくりグループの活動発表会を4年ぶりに再開しました。



一部委託型つどい場の増回等



- ▶ 第10集会所でのつどい場について、11月から午前・午後の2部制としました。（午後を増回）
- ▶ これまで参加していた方は、以前と同じ時間帯である午前中の参加が多いですが、午後の時間帯に余裕があり、新しい参加希望者の受入れが可能になっています。
- ▶ オンラインつどい場の試行的実施については、新型コロナウイルスの取扱いが5類に移行したことを踏まえ、運営方法について検討を行いました。
- ▶ これまでにつどい場に参加したことのない方に、オンラインつどい場を体験してもらうことで、新たなつどい場の参加者になってもらえるよう、6年度開催に向けて、担い手と調整中。

「元気リハビリ教室」の安威川以南圏域での開始に向けた調整

- ▶ 現在、保健センターで実施している「元気リハビリ教室」について、安威川以南圏域でも実施ができるよう、場所の検討を行いました。
- ▶ 令和6年度中に、安威川以南圏域の1か所で、保健センター職員が出向く形で「元気リハビリ教室」を開始する予定です。



【2】在宅生活・日常生活の支援

- ▶ 緊急通報装置の制度の拡充
- ▶ 配食サービス（昼食）の提供事業者の公募



緊急通報装置の制度の拡充

- ▶ 緊急通報装置について、7月から下記の表のとおり変更し、制度を拡充しています。

(変更の内容)

	6月まで	7月から
貸与対象者 (世帯)	<ul style="list-style-type: none">ひとり暮らしの高齢者 (昼間のみひとり暮らし含む)	<ul style="list-style-type: none">ひとり暮らしの高齢者<u>高齢者のみの世帯</u> (どちらも昼間のみ上記になる世帯を含む)
貸与要件	<ul style="list-style-type: none">がん、心疾患、脳血管疾患等の急変の恐れがある持病があること	<u>(要件の撤廃)</u>
設置形態	<ul style="list-style-type: none">固定電話回線を要する設置型	<ul style="list-style-type: none">固定電話回線を要する設置型<u>固定電話回線を要しない携帯型(固定電話のない世帯対象)</u>

※広報せつつ7月号で拡充についてお知らせしています。

配食サービス（昼食）提供事業者の公募

- ▶ 配食サービス（昼食）の提供事業者について、プロポーザル形式での公募を行いました。
- ▶ 新しく決定した事業者と打合せを行い、カロリー・塩分調整食などの特別食の対応が可能になりました。（内容は下記の通り）
- ▶ ただし、本人負担について、普通食は1食400円ですが、特別食は1食600円となります。

【特別食の内容】

- カロリー・塩分調整食 ○たんぱく・塩分調整食
 - やわらか食 ○ムースセット食 ○消化にやさしい食
- ※普通食と比べて栄養価の調整等が行われているものの、疾病の治療を目的としたものではございません。



【3】地域ケア体制の整備

- ▶ 個別ケース会議の考え方について、ケアマネジャー部会で説明会を実施。
- ▶ 「気持ちノート」を発行
- ▶ 人生会議についての市民向け講座を開催
- ▶ 多職種連携研修会を再開



個別ケース会議に関するケアマネジャー向け説明会

- ▶ ケアマネジャー部会の際に、地域ケア会議 個別ケース会議の目的や考え方について、説明会を行いました。
- ▶ 令和5年度は、2月末現在で11回の個別ケース会議が開催されています。

地域ケア会議について



- 摂津市では、地域の関係者と専門職が連携して高齢者を支えることができるよう、地域ケア会議を開催しています。
(開催や運営については摂津市地域包括支援センターに委託をしています)

ひとり暮らし登録について

- ひとり暮らし登録をしている人には「救急医療情報キット」をお渡しし、キットを入れている冷蔵庫と玄関の裏に、下記のシール(マグネット)を貼るようにお伝えしています。



個別ケース会議の開催にあたって

- 個別ケース会議の開催を行う際は、基本的には、本人や家族からの了承を得てください。(了承を得る方法は口頭でも可)
- たとえば、下記のように了承を得ることが考えられます。
 - 今後、〇〇さんの支援をしていくにあたって、今まで見守りをしてきていた民生委員さんやライフサポーターさんとも連携をとっていきたいと思っており、民生委員さんたちと情報共有をする話し合いの場を設けてもいいですか？
- 了承がいただけましたら、地域包括支援センターに連絡し、個別ケース会議を開催したい旨をご連絡ください。



10

個別ケース会議とケースカンファレンスの違い

- 個別ケース会議とケースカンファレンスについては、下記のようない違いがあります。

	個別ケース会議	ケースカンファレンス
参加者	<ul style="list-style-type: none"> • 専門職 • 地域の人 	<ul style="list-style-type: none"> • 基本的に専門職のみ
内容	<ul style="list-style-type: none"> • 対象者への支援について • 地域の人を含めたネットワークの形成 • 地域の課題の発見について(※) 	<ul style="list-style-type: none"> • 対象者への支援について

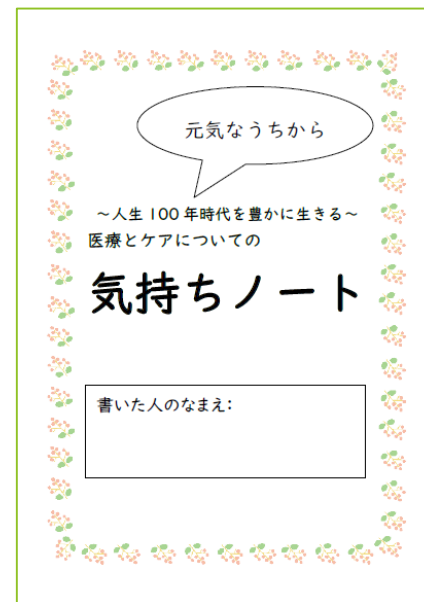
※地域の課題の発見については、会議の中で必要に応じて扱います。

4

11

「気持ちノート」を発行

- ▶ 元気な間から医療やケアについて考えるきっかけを作っていただくため、医療関係者や介護関係者の協力のもと、「気持ちノート」を作成しました。



- ▶ 「気持ちノート」は、お薬手帳サイズとなっており、お薬手帳とともに、日頃から持ち歩いていただくように、啓発をしています。

※ 令和5年1月に官民協働形式で発行し、好評であったエンディングノートは、令和6年1月に部数を増やして再度発行し、公共施設等で配布をしています。

(冊子のデザインが変更になっています)



人生会議についての市民向け講座を開催

- ▶ 人生会議の普及・啓発を目的に、済生会吹田病院との共催で、市民向け講座を開催しました。
- ▶ 講座参加者には、エンディングノートや気持ちノートと、気持ちノートを持ち歩くお薬手帳入れを配布しました。



要事前申込 定員100名

参加無料

摂津市 SETTSU CITY × 済生会吹田病院 大阪府済生会吹田病院

摂津市民公開講座

2024年1月28日(日) 開場 12:30 / 開演 13:00 ~ 15:30
摂津市立コミュニティプラザ 3階コンベンションホール
(大阪府摂津市南千鳥丘5番35号)

あなたの大切にしている思いを実現する 人生会議(ACP)

- もしものときにそなえて、あなたの大切な思いを話す
済生会吹田病院・消化器内科・科長 光本 保菜 医師
- ACPに繋がるがんとお金
一般財団に寄せられるお金のみんなのリアルな声
一般社団法人がんライフアドバイザー協会 川崎 由華 代表理事
- ACPと切っても切れないお金(財産)の話
司法書士法人権利事務所・代表 濱村 雄一 司法書士
- 摂津市よりおしらせ
摂津市高齢介護課

多職種連携研修会を再開

- ▶ 令和2年度以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としていた「多職種連携研修会(※)」について再開をしました。

※医療と介護の連携促進のため、医療関係者と介護関係者が一堂に会して実施する研修会。



【4】 認知症施策の充実

- ▶ 認知症ケアパスを改訂
- ▶ 図書館と連携した認知症啓発活動を実施
- ▶ 本人交流会を実施



認知症ケアパスを改訂

- ▶ 図やイラスト等を活用し、情報を整理することで、見やすい内容に工夫しました。
- ▶ 市役所や公共施設だけでなく、医療機関や薬局等にも協力いただき、認知症ケアパスを設置しました。



図書館と連携した認知症啓発活動

- ▶ 特別展示として市民図書館と鳥飼図書館にて、認知症に関する本の展示や認知症支援として取り組んでいる活動の紹介等を行いました。
- ▶ 体験型のイベントとして、小学生以下の子どもを対象に認知症マフ作りを実施しました。当日は7名の子どもが参加がありました。



にんちしょう づく
認知症マフ作り

日時 11月18日(土)
午前10時～午前11時30分

場所 摂津市民図書館 3階大会議室

内容 認知症マフに毛糸等を使って飾りつけをしよう

対象 小学生以下(保護者同伴可)

定員 6名

申込み 摂津市民図書館のカウンターまたは
電話 (06-6319-0577) にて先着順

マフとは、両手を入れる形の防寒具のことです。
そのマフにアクセサリーや毛糸玉をつけ、それを触ることで触覚を刺激し、心に安らぎを与えるものが「認知症マフ」です。

とても暖かく、握っているとリラックスできました。

摂津市認知症支援プロジェクトチーム・摂津市民図書館共催

本人交流会

- ▶ 「認知症かもしれない」という方や認知症の診断を受けた方（以下、本人）と、その家族の交流会を実施しました。
- ▶ 本人3人と家族等3人の参加がありました。
- ▶ 参加者からは「楽しかった」「もっといろいろな話を聞きたかった」「皆さんの笑顔を見て、私も笑顔になりたいと思った」等の感想がありました。



認知症本人交流会

★日時★
令和6年1月30日(火)
14:00~15:00

★場所★
摂津市立コミュニティプラザ
2階 会議室

「認知症かもしれない」「認知症の診断を受けた」という方へ
仲間と出会い、日ごろ感じていることや思いなどを、一緒に話ませんか。
同じ立場だからこそ分かち合えることがあると思います。
不安に思うことややってみたいことなどを自由にお話ししましょう。

認知症の方と一緒に暮らすご家族の方も一緒に参加できます。
皆様のご参加をお待ちしております。

★ 申し込み・問い合わせ ★
摂津市認知症支援プロジェクトチーム事務局
「摂津市地域包括支援センター
☎06-6383-1377(担当:福田・大塚)まで」
※電話申込制です

【5】介護サービスの充実

- ▶ 介護の日イベントの開催
- ▶ 介護サービス事業所等物価高騰対策支援金を交付



介護の日イベント

- ▶ 令和4年度に規模を縮小しての会場開催を再開した「介護の日イベント」について、令和5年度ではステージでの催しや体験ブースなどの集客型も加え、おおむねコロナ禍前の内容で実施しました。



介護サービス事業所等物価高騰対策支援金

- ▶ 物価高騰が続く中で、その影響を受けている市内の介護サービス事業所に対して、事業の継続と経営の安定化を図るため、支援金を交付しました。
- ▶ また、申請する事業所の負担軽減のため、令和4年度に申請をしていた事業所に対しては、受取拒否や振込口座の変更がない場合には、手続き不要での交付を行うプッシュ型での交付を行いました。

令和5年度の取組（総括）



- ▶ 新型コロナウイルスの位置づけが5類感染症に移行したことにともない、人の集まる研修会・会議・イベントについて、おおむねコロナ禍以前の活動が再開できてきています。
- ▶ 市民調査でニーズが多かった緊急通報装置の制度の拡充や、今後の不安として多かった終活（人生会議）に関する啓発など、昨年度の調査から得られた結果をもとに、制度の見直しや啓発を実施しました。



令和6年度に向けて

- ▶ 研修会やイベントなどの人の集まる取組を継続するとともに、より多くの人に参加いただけるようにしていきます。
- ▶ 高齢者の参加できる活動についての情報収集を行い、外出や参加を促します。
- ▶ 市民同士の支え合いの活発化や、個別ケース会議を通じた支援者間の関係づくりなど、人のつながりを通じた支援を行っていきます。
- ▶ 介護保険制度の改正については、適宜関係機関と情報共有や打ち合わせを行い、適切に対応していきます。